

学校点描

大雪の中、下校中の事故が数件発生しました。通学途中の安全指導を再度行っています。

《M 中学校》

NO 11 H29. 1. 16

担当：教頭

年末年始から雪が降らなかったために、赤倉スキー場や真室川の秋山クロスカントリーコースで開催されるはずだった県中学校スキー大会が、蔵王と肘折に場所を移して開催されました。アルペンスキーでは、男子の部でGSでY・Sさん、SLでK・Sさんが、女子の部ではGSでS・Aさんが県優勝しました。クロスカントリースキーのクラシカルではI・Cさんが8位に入賞しました。また同日に置賜で開催された中学生バスケットボール選手権大会では、M中女子バスケットボール部が準優勝しました。2017年素晴らしいスタートが学校として切れたようです。

さて先日、生徒・保護者のアンケート集計を全家庭にお配りいたしました。いきなり冊子が来たので、「なんだ？」と思いになった方もいらっしゃるでしょう。年末の三者面談の際に生徒と保護者から学校経営について記入してもらったアンケートを、集計したものです。生徒の自由記述には「先生はもっと自分が言ったことに責任を持った方がいい」なんて、厳しい声があったりしています。数は少ないにしろ、そのような思いを抱いている生徒がいるということは、己を振り返る大切な反省材料です。

「大人が変われば、子どもは変わる。」よく聞くフレーズですが、何をどのように変えることが大切なのか、そのために、アンケートを取りその集約したデータからどう読み取るか、何が明らかになっているのか、そこがとても重要になってくるわけです。数字の裏にある背景にあるもの、それを知らなければ、変わるに変わりません。テストの点数が低いのは、勉強時間が少ないからとすぐに決めつけるのは、データを読み取るプロとしては失格です。ある学校では、毎日家でも学校でも靴をそろえることを徹底したら学力があがった事例があります。やってきたことを振り返る習慣や意識が足りなかったから、靴揃えの活動を徹底させたと、その校長先生が言っていました。

背景を読み取る

本校では、学校医や学校歯科医、学校薬剤師の先生、町の健康福祉課の職員、学校関係者、PTA 役員や母親委員のお母さんたちそして、生徒会保健委員会の生徒たちが一緒に話し合いを行う、学校保健委員会という会議が年に1回あります。もちろん、M町の中学生の心と体の健康増進をみんなで考えようという趣旨なわけですが、実際に当事者である生徒も加わって大人と一緒に会議を行うのは他校にはない珍しい企画です。

12日の会議では、保健委員の生徒たちが、携帯やゲームの使用頻度を全校生徒からアンケート形式で回答してもらったものを集約して発表してくれました。1年生は、プレステーション等のゲーム機を通じてネットに接続する機会が多いのに対し、3年生は iPod 等の音楽プレイヤーの機器から接続する機会が多いことがわかります。また、使用時間についても、2年生が他の学年と比べてダントツに多いこともわかりました。

わたしは、この調査で気になったのは、課金で支払いが多くなったという回答ですね。『無料ゲーム』とっていますが、本当に無料のサービスを提供するだけでは会社はやっていけません。実は無料のサービスから収益をあげる方法があるのです。これを“マネタイズ”といいます。インターネットでサービスを提供する会社や無料ゲームを配信する会社は、このマネタイズの方法をあの手この手と考えています。たとえば、無料ゲームの場合、ゲーム内でつ

かう一部のアイテム（道具）を有料にすることで収益を得るのです。だから、アイテムを使うとゲームを有利に進められる（釣りゲームだと大きな魚を釣れやすい釣り竿など）ようにしたりして、有料のアイテムを買いたくなるような、人間心理をうまく利用しています。それにまんまとはまっている生徒がいることも読み取れたわけです。

保健委員会の生徒たちの発表の後、今度は、大人も生徒も混ざって3つのグループになり、気になったことを話し合いました。わたしは、Bグループに混ざります。想像通りにやはり話題は、SNS、LINEの使い方から始まります。

同じグループのPTA役員のお父さんは、「驚いたー、受験生なのにこんなにスマホやゲームに時間使っているなんて」と嘆いています。一緒にいた健康福祉課の女性の方は、最近、若いお母さん方の子育てでスマホが使われていることを教えてくれました。

赤ちゃんがぐずったらすぐスマホというのは、今後どんな子どもが育ってくるのか怖い気がします。これまで当たり前に行っていたお母さんのアイコンタクトやふれ合いが、スマホに変わる。子どもがだだをこねたり、悪いいたずらをしたら「鬼がくるよ」と言って、スマホを操作、すると、本当にスマホに着信がきて、「ほら、鬼から電話よ」と言って子どもに渡すと、「悪いのは誰だ〜」と恐ろしい鬼の声が聞こえる、そんなサービスを活用している若いお母さんお父さんもいるようです。

同じグループにいた看護師であるお母さんは、

「職場では夜8時以降にはLINEをしないってみんなで決めているんですよ。夜勤の方もいるので夜のLINEは迷惑なんです。だから、大人でもルールを決めることでみんなが助かっています」

子どもの事を考えている会議なのに、わたしのグループでは、結局、大人の方がまずは振り返る必要があるのではという結論になりました。

会議の終了時刻となり最後に各グループで話しあったことを中学生が発表することになりました。

Bグループは、2年生男子のS・Tさんが、自分の考えも一緒に発表してくれます。

「LINEやゲームの時間を減らすには、まずは家に帰って、ちゃんと家族で食事をするところから始めます。」

SNSやゲーム時間を減らすために、まずは機器を取り上げるというのは、背景となる真実を正しく読み取ってはいないのかもしれないね。

毎日、家族みんなでしっかり夕食をとることから始める、

実は、案外、問題となる背景を、一番正確に読み取っている答えなのかもしれません。

----- きりとりせん -----

ご意見・ご感想をお願いします。

Shinyatk1616n@yahoo.co.jp